

首相、消費税10%表明

G20 国民無視の国際公約

野田佳彦首相は3日午後（日本時間同日夜）、フランス・カンヌで始まった20カ国・地域（G20）首脳会議で、「2010年代半ばまでに段階的に消費税率を10%まで引き上げる」との方針を表明しました。これを実現するための関連法案を「2011年度内に提出する」とも強調しました。

10年代半ばまでに段階的に消費税率を10%まで引き上げるとする方針は、6月30日に政府・与党社会保障改革検討本部が決めた「社会保障・税一体改革案」に盛り込まれたものです。しかし、同案は、閣議報告にとどまり、閣議決定されていません。10月28日の臨時国会での所信表明演説でも、野田首相は消費税増税には触れていませんでした。

G20首脳会議では、首相は社会保障の財源問題について、「まず、財政再建をしっかりとやらなければならない」とも述べました。

直ちに撤回を

牧野由子（ゆっこ）消費税をなくす全国の会事務局長の話 私たちは、野田佳彦首相が3日からの20カ国・地域（G20）首脳会議で「2010年代半ばまでに段階的に消費税率を10%まで引き上げる」との関連法案を「11年度内に提出する」と国際公約したことに抗議します。

消費税増税は、大震災・福島原発事故による被災者をはじめ貧困と格差が広がるもとで、震

災の復旧・復興をいつそう遅らせるともに、国民の暮らしと日本経済に大打撃を与えます。

消費税増税については、国民の世論が二分している中、国会の場でも論議がされていらないものを安易に国際公約することは断じて許せません。

国民を無視した暴挙であり、直ちに撤回することを求めます。

2011年11月5日（土）

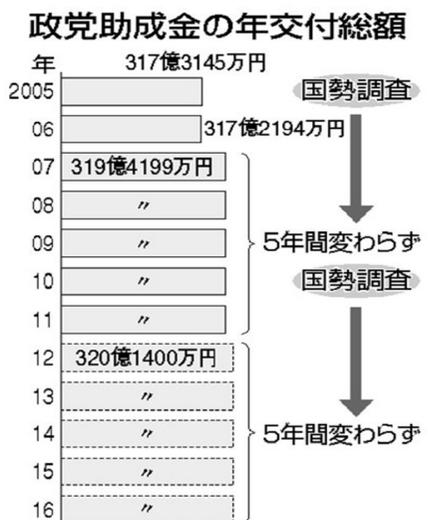
“復興財源に” 政党助成金 7200万円増額

日本共産党以外の政党が山分けしている政党助成金が来年から増額されようとしています。復興財源の確保が大問題になっている最中、「民主主義の発展に重要な意義をもつ」（野田佳彦首相）と云って政党助成金を返上せず、受け取り続ける政党の姿勢が問われています。

総務省は2012年度予算概算要求で、政党助成金の年交付総額として320億1400万円を計上しました。今年度比7200万円増で、増額措置は07年以来5年ぶりです。

政党助成金の原資は、国民が納める税金。受け取りを申請した政党に交付する年総額は、5年ごとに行われる国勢調査の総人口に250円を掛けて算出されます。政党を支持するの、か、といった考慮はまったくなく、国民は赤ちゃんからお年よりまで1人250円を“強制献金”させられています。政党助成金は、憲法に定める国民の思想・信条の自由を侵す憲法違反の制度です。

来年増額となるのは、昨年行われた国勢調査で総人口が、前回05年調査より約28万8000人増えたためです。来以降、総人口が減ったとしても、次の国勢調査に基づく算出が行われるまでの5年間（16年まで）は、いったん決めた年交付総額320億1400万円が維持されるのです。



国民には増税

民主、自民、公明などは、国民に所得税などの「復興増税」や消費税増税を押し付けるために、「国会議員も身を切る」などといっています。政党助成金を返

東日本地震への

救援募金にご協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を呼びかけています。

【郵便振替口座】

0017017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。「ご協力よろしくお願いします。」

磯城郡日本共産党議員団

上しようとはしていません。増額されたもとでなおも受け取るつもりです。

1日放送のテレビ朝日系番組「報道ステーション」でキャスターの古舘伊知郎氏は「共産党を除いて、政党には政党交付金が320億円も入れられている。そこをどう削るかをやってから増税だ、ということはありませんよ」とコメントしています。

2011年11月5日（土）

65歳以上の 介護保険料軽減 低所得者向け強化

厚生労働省提案

厚生労働省は10月31日の社会保障審議会介護保険部会で、65歳以上の介護保険料について、低所得者向けに新たな軽減制度をつくる方向を提案しました。介護保険制度は給付費の5割を保険料（残り5割は公費）でまかなう決まりで、高齢化に伴い、負担能力を超えて保険料が上がり続ける仕組みです。

65歳以上の介護保険料は現在、全国平均で月4160円です。厚生労働省は、2012年4月から5000円を超す見込みであり、低所得者の保険料も現在の月2000円程度から12年に2500円程度へ、その後3000円などへ上がっていくと説明。「公費は5割」の大枠は守りながら、プラスアルファの公費を投入して、低所得者の保険料を軽減する制度を新設する意向を示しました。

前年の収入が単身で60万円以下、預貯金が240万円以下、居住用以外の土地や家をもたない、といった条件を満たす場合に保険料を半額にするなどの例をあげています。

保険料がとめどなく上がるといって制度の根本的な欠陥に対し、「プラスアルファの公費」を投入して手当てせざるをえなくなり、従来の枠組みの破綻を政府自ら認めたい形です。しかし制度の抜本的な改善でない上、軽減には厳しい条件がついて全額免除もしいなど、限定的な見直しにとどまっています。

2011年11月2日（水）

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

文化祭

今年の田原本町の文化祭は4(金)5(土)6(日)の3日間、開かれました。私は5日だけ少し時間があつたので見に行きました。

展示会場には、生け花、押し絵、陶芸、書道、など様々な分野での作品はどれもこれも失礼ながら「素人がここまで出来るの？」と目を疑う程素晴らしい出来ばえの物ばかり。これだけの作品を仕上げるには何回も失敗をしながら、凄い努力をさされてきたのだろうな、又、展示や会場の準備もされた方々の大きな御尽力もあつただろうなと想像しながら見せて頂き

ました。

小さい頃から針と糸と布が大好きだった私は、こんな作品を目の前にすると作りたくてウズウズしてしまいます。教室に通つたら、こんな素晴らしい物が作れるようになるんだ、入ってやりたいな。でも今の私にはやるべき事が山の様にあふれているし、とてもそんな時間はないよと思つても・・・

森 良子
田原本町議
森 良子
森 良子



まど みちおさん

四六日文化祭が行われました。たくさんの方が、参加されていました。私は、残念ながら図書館の「永久貸し出し」をのぞいた程度しか参加できませんでした。(炊き込みご飯は美味しくいただきました)

一昨年百歳を迎えられた『まど みちお』さんの詩を紹介します。童謡「ぞうさん」を作詞されたまどさんは、施設に入っておられますが、日常生活を題材にして活発に詩作に励んでおられます。その中で、私の気に入った作品です。「無題」

田原本町議会議員
吉田 容一



三宅町の町債

「財政の公表」の中の三宅町の町債について(平成二十二年一月三十一日現在額と平成二十三年六月三十一日現在額)調べてみました。(別表参照)

半年間で十億七千三百五十七万円を返済し、六月三十日現在額は六億八千五百六十六万円(借り換えもありすが)となっています。ちなみに、3月末の決算までは七億

千二百二十四万円を返済し、二三年度予算では三億六千三百三十三万円返済していることとなります。

町債に関する調べ(H23.6.30現在) (単位千円)			
区 分	H22,12,31現在	H23,6,30現在	半年の増減
一般公共事業	114,216	106,973	-7,243
一般単独事業	132,969	119,282	-13,687
一般単独事業	581,237	553,423	-27,814
一般単独事業	117,705	0	-117,705
一般単独事業	695,349	5,515	-689,834
一般単独事業	14,495	14,019	-476
公営住宅建設事業	564,502	515,228	-49,274
公営住宅建設事業	112,360	101,007	-11,353
義務教育施設整備事業	234,146	233,090	-1,056
厚生福祉施設整備事業	1,800	1,200	-600
地域改善対策特定事業	14,530	6,824	-7,706
県市町村振興資金貸付事業等	270	0	-270
減価償却債	161,526	150,258	-11,268
地方道路整備借付金	2,800	2,800	0
臨時特別補償債	17,777	16,673	-1,104
臨時規格外債	1,677,780	1,646,213	-31,567
社会福祉施設整備事業債	2,054	1,645	-409
下水道事業	2,967,016	2,875,669	-91,347
下水道事業	306,362	297,909	-8,453
合計	7,754,139	6,680,563	-1,073,576

理解不能

十一月に入っても夏日が記録されるとは、どう言う事なのでしょう。一方、ニューヨークでは先日大雪に見舞われ、空爆発の危機も生まれてい

も起こっているようです。し、タイやイタリア等々では洪水の被害が続出する等、地球を取り巻く環境変化がどうも怪しいです。

自然現象と言えればそれまででしょうが、その元をたどれば自然界においてその摂理に反する行動を執ってきたのが、唯一我々人類ですから、自分で

まいた種をきちんと始末をせん事には、これから先の地球環境の保全など到底出来るはずもない

芝 和也

